

[事業計画名]

家事・介護サービスの生産性向上対策

配食サービスでもない、在宅訪問サービスでもない、新規性の高い訪問家事サービスを提供。家事・介護サービスの生産性向上をはかり、ニーズにきめ細やかに対応して女性の社会進出を応援する。



取り組みの背景

女性の社会進出がますます拡大し、家事に費やす時間が減少している。当社は家事支援サービスの草分け的存在として事業を開始し、27年間にわたり個別家庭の課題解決に邁進してきた。家事の中で最も重要なものとして、体の健康のみならず心の健康を確保するために家庭料理の重要性が注目されている。しかし、家事に費やす時間に制約があると、家族の健康に配慮したメニューの考案や、下ごしらえに手間暇をかける余裕がなくなり、外食や中食などに依存する傾向が強くなる。“「食」は暮らしの中心であり家庭の根幹である”という思想を多くの家庭に根付かせ、家事の中でも最重要な“食事づくり”の時間的・精神的負担の軽減を図りたい。

取り組みの目標

- 家庭料理の重要性と存在感を高める
- 野菜をふんだんに使い栄養バランスの良い食事の提供
- 担当者の調理の力量格差の解消
- 食の安全性を保証

取り組みの内容

食品の偽装問題、添加物や農薬による健康被害、加工食品摂取による味覚の鈍化など、食品をめぐるトラブルが多いなか、安全・安心な食環境を確保するには、産地が明確な食材を購入して調理する家庭料理が適している。しかし、家庭料理に手間暇をかける時間が減少している。そこで家事の中でも最重要な「食事作り」の時間的・精神的負担軽減を当社がサポートすることを目標とした。手間のかかる下ごしらえや出汁づくりはあらかじめ当社で行い、真空パックにして顧客に配達し、顧客先で仕上げ・盛り付けを行う体制を整えた。保存料や添加物を使わず、食材は無農薬・有機栽培など安全性が確保できる国内産を中心に調達している。調理専門担当者を新規に採用し、調理に対する専門的スキルアップを図って、メニュー作りと提供サイクルの検討を行った。安全衛生に対する管理を徹底し、その日に調達した食材を使い、その日に調理して、その日に賞味してもらう姿勢を貫いた。

今後は、ITを活用し更なる生産性向上や情報発信を行って、事業拡大を目指す。

POINT 1

大学教授から専門的アドバイス

同じ市内に立地する大学の栄養学教授の指導を仰ぎ、食品素材の安全性確保のための見分け方、薬剤等の除去方法などのマニュアル化を図ったほか、季節ごとの旬の食材、健康に配慮した調味料・食用油の選択方法、調理における食材組合せ方法など、当社従業員ではわからない知識を得た。



料理写真



ちらし

POINT 2

徹底した食の安全確保

調理担当者に、刃物の手入れや調理道具の洗浄などの衛生観念を徹底し、加熱調理のマニュアル化などを行って調理時の安全衛生を確保した。また、汁物容器や副菜に適した容器の調査、保存食材用容器の調査、配送用保温ケースの調達などを行い、搬送時の異物混入や変質を防止した。



パッケージ



配送車

企業概要

株式会社ポレ・ポレ

- 事業内容
- 訪問型家事支援業務(家事・育児・介護)
- 集合型保育事業(保育ルーム運営)

同社の強み

- ・家事支援サービス業の草分け的存在
- ・地域密着でニーズを先取りするサービスの実践

所在地：宝塚市社町1番6号 シャルム逆瀬ビル1階
TEL：0797-71-0888
設立：平成2年7月21日
代表者：代表取締役社長 大崎 穂乃美
従業員数：5人(平成29年6月現在)
資本金：1000万円
E-mail: info@pore2.jp

<http://www.pore2.jp/index.html>



株式会社ポレ・ポレ
代表取締役社長
大崎 穂乃美氏

小粒でもピカリと輝く企業を目指して

当社は1990年創業の家事支援サービス業として、事業の最先端を開拓してきた自負があり、経験したことのない業務に対しても、積極的に問題解決を図る社風を持っています。ISO9001(品質マネジメントシステム)にもいち早く取り組み、家事サービス業としては業界初の認証登録を果たしています。

新たな「おふくろの味」提供サービスの開発に際しても、食品衛生法他多くの法的規制を研究し、また地元大学栄養学部の指導

を受けて、様々な問題解決をしながら推進しました。
サービス業は産業としての社会背景が比較的短いこともあり、価格支配力が弱く、また作業効率が低いことから生産性面で多くの課題を抱えています。
訪問型サービス業は、顧客へ訪問しなければ業務ができない為、効率面で大きなハンディキャップを持っています。
今後とも、バックヤードでできることは集中させて業務効率を上げ、ITを活用して効率化や省力化を図り、生産性向上に貢献できる企業体を作り上げたいと考えています。
業界の常識にとらわれることなく、ユニークな事業開発を行って、小粒でもピカリと輝く企業を目指したいと思っています。